

射水市新湊博物館 運営検討委員会 会議録

- 1 開催日時
令和4年11月4日（金）午後2時から午後3時30分まで
- 2 開催場所
射水市新湊博物館 調査研究室
- 3 出席者
委員 浅地委員、石黒委員、牛塚委員、森委員、米原委員

事務局 射水市新湊博物館 塩谷館長（兼 教育委員会 生涯学習・スポーツ課長）
稲垣係長、松山主査、加治主任
- 4 欠席者
委員 勝山委員
- 5 議題及び会議結果
(1) 令和4年度事業進捗状況報告
「資料の収集・整理事業」、「調査・研究活動」、「展示・教育普及活動」、「管理運営事業」、「今後の課題」の項目に沿って報告した。
- 6 会議資料
別添のとおり
- 7 会議経過
本運営検討委員会設置要綱の規定に基づき、委員の互選により石黒委員が委員長、米原委員が副委員長に選定され、委員長が議長となり議事進行了。 「令和4年度事業進捗状況報告」について事務局が説明したところ、各委員から次のとおり意見が出された。 これらを十分に検討のうえ館の今後の管理運営に反映していくよう求めがあり、これをもって閉会した。

(委員)
自分の所属する館では、ここ1、2年で展示対象を刀剣から絵画に広げ、入館者数増とリピーター確保に努めている。 新湊博物館も新しいものを少しずつ取り入れながら、来館者に対する刺激を増やしていくとよい。

(委員)
「道の駅カモンパーク新湊」の来客を新湊博物館に呼び込むよう不断の努力と工夫が必要だ。「食」と博物館・美術館との連携は難しくはあるが。

(委員)

新湊博物館の入館者数が、今年度の7ヶ月間に3,000人超で、多いという印象を受ける。立川志の輔の落語を映画化した「大河への道」が人気を博しており、この中で、石黒信由と伊能忠敬の放生津（射水市新湊地区）での出会いを取り上げているのが原因のひとつではないか。千葉県香取市の伊能忠敬記念館とコラボして企画展を開催してはどうか。

(委員)

測量体験学習の小・中学校への出前はできないものか。新型コロナ禍や夏季の高温化、新湊博物館の常駐職員数減などの支障があるものの、博物館の広報につながる。過去に出講経験があるのだし、出講希望に応じることが可能であれば、もっとPRすればよい。

(委員)

博物館は、地域に根ざした歴史的、文化的なものを発掘し市民に広めることを活動の原点とし、それで多くの入館者数を得られればなおよしと割り切ることだ。入館者数増にどれだけ一生懸命に取り組んでも儘ならないのは博物館の宿命である。入館者数を行政的な視点からのみ見るのでは、日々努力する学芸員が浮かばれない。

(委員)

道の駅新湊一帯が大規模リニューアルされるが、その中に新湊博物館をどう位置づけるかにつき、明確なコンセプトを館として早めに決め、当該リニューアルに積極的に関与すべきである。

(委員)

当該リニューアルに際し、新湊博物館のこれまでの地道な活動を継続するのも、リニューアルに呼応して新しいものを付け加えていくのも大事である。両者のバランスをぜひ上手く取ってもらいたい。そうしないとこれまでの新湊博物館の性格がガラリと変わってしまう。また、実に多くの情報を発信・提供できる長所を出来る限り活かすことができるよう、リニューアル関係者と上手に協力し合うことだ。

(委員)

測量庭園は、石黒信由にかかわる江戸時代の測量術を体験学習することを目的とした新湊博物館施設である。これを用地として令和7年までにホテルを建設・開業する計画があるようだ。当該計画につき、市民の意見や新湊博物館の今後の方針を含めながら検討する必要があるのではないか。